

新年號發行に就て
本誌は誕生後第一回の新年を祝賀し...

新年號の紙面は殊に之を倍加
臨時増刊を行ふ
種々の投書を募集す...

新年號は特別に数千枚増刷
告の効能著大なり
年賀廣告は特別強勉を以て...

久保木民之助
東西南北 放言子
平町は此三曲道路一名情實道路の密成...

八雲銅山の解散
石城郡大野村なる八雲銅山は本年に入り...

植頭商店
強販賣
この志を起し母の計しを受け...

和洋菓子御問屋
田中喜十郎
東京市日本橋區馬喰町四

久保木民之助
孝行助役
子と思ふ親の心は昔も今も...

鐵道諸報
赤常宛美倉間
大根田
川根田

野菜相場
(平町四丁目吉田)
盤城太
白根尺内外中...

甘泉梅本舖
六小野六郎
平町字田町六十五番地

水中の大格闘
石城郡平町字鎌田笠原只
之助氏は去九月十九日...

菊地新聞店
平町三丁目

鐵道諸報
赤常宛美倉間
大根田
川根田

甘泉梅本舖
六小野六郎
平町字田町六十五番地

水中の大格闘
石城郡平町字鎌田笠原只
之助氏は去九月十九日...

吉田商店
平町三丁目

鐵道諸報
赤常宛美倉間
大根田
川根田

甘泉梅本舖
六小野六郎
平町字田町六十五番地

水中の大格闘
石城郡平町字鎌田笠原只
之助氏は去九月十九日...

竹行李、山田屋
相馬紙縁問屋
平町三丁目

鐵道諸報
赤常宛美倉間
大根田
川根田

甘泉梅本舖
六小野六郎
平町字田町六十五番地

水中の大格闘
石城郡平町字鎌田笠原只
之助氏は去九月十九日...

乾温飽 乾蕎麥
ウツメン 製造大販賣
平町二丁目
加白土屋本店

美眼論

在京 藤澤 衛彦

諸君と呼んだ時、此處をこう叩いたならば、或は諸君の注意を此處に引いて、吾輩の演説には幾分かの活氣を興へるかも知れないが、吾輩にはまだ「諸君」と云ふと同時に「ドシ」とつやる勇氣が無い。いつたい、病な上にしやべるのは、下手である。...

Table with multiple columns listing names and amounts, likely a financial report or list of contributors.

小名濱築港問題

石城郡小名濱の築港問題は近年漸く世人の注意を喚起し、東部の築港家細谷氏は...

先哲遺訓

二宮先生の遺訓、二宮先生の遺訓、二宮先生の遺訓、二宮先生の遺訓...

野菜相場

野菜相場、野菜相場、野菜相場、野菜相場...

菊地新聞

菊地新聞、菊地新聞、菊地新聞、菊地新聞...

吉田商店

吉田商店、吉田商店、吉田商店、吉田商店...

柳行李、山田屋

柳行李、山田屋、柳行李、山田屋...

吉田商店

吉田商店、吉田商店、吉田商店、吉田商店...

新年號發行に就て、新年號發行に就て、新年號發行に就て...

臨時増刊、臨時増刊、臨時増刊、臨時増刊...

石城郡小名濱の築港問題、石城郡小名濱の築港問題...

先哲遺訓、先哲遺訓、先哲遺訓、先哲遺訓...

野菜相場、野菜相場、野菜相場、野菜相場...

菊地新聞、菊地新聞、菊地新聞、菊地新聞...

吉田商店、吉田商店、吉田商店、吉田商店...

柳行李、山田屋、柳行李、山田屋...

吉田商店、吉田商店、吉田商店、吉田商店...

機製麵類大販賣
砂糖物產國紙類

白土加本店

雜貨問屋
平 茂屋土白

常陸國那珂郡湊町
西野仁兵衛

西

大竹商店
平町五丁目

星野齒科醫院
平町一丁目

精撰牛乳
乳質純良
消毒完全
配達迅速

磐城平町北目町
磐城牛乳舎

京御菓子司
山花澤堂
平町停車場前

其他御注文應調進可仕候

小泉石杖營業所

磐城平町新川町

所長 白黒 土木 龜房 吉教

ビヤホール

平町新田町

一の井

和洋菓子調進所
列柴田屋菓子店
磐城原町柴田

和洋板硝銅鐵
金物問屋類

日本セメント株式會社
特約販賣
磐城中町五丁目
釜屋久太郎

青物 果物 密柑 甘藷

問屋 吉田五郎
平四丁目
電話 (ヨツ五)

新築落成
石島陰陽館
平町白銀町

磐城平吉田禮次郎謹製
七貼入金貳拾五圓

醬油味噌釀造販賣
品質純良風味佳絕

台極上醬油

平町白銀町
殿木鋸治

遠藤齒科醫院

團扇扇子 蜜柑問屋 略曆臺紙

品質精選一層誠實勉強
仕候條不拘多少に御注文仰付被下度候

東京日本橋區堀江町二丁目壹番地

金大和屋商店

電話浪花 三三七番 電信發送略符 (ヤ)

新開雜誌及書籍賣業

東京市京橋區南八丁一丁目二十六番地

陽社

振替貯金口座四壹

て戀わたるかな
萬葉の死せるが如き真夜中に現遊のく
吾思ひかな
山茶花に乘なり小鳥のかけ見えて丘の
一家ひる静かなり
馬ひきかへる月夜の小松原秋風寒く
鈴の音さるる
小田かへす身にも歌まむひまはあり治
まる御代の幸多き哉

磐城開物井嶽の龍燈

第六卷 實見上の龍燈(上)

磐城地方人士は一般に龍燈を真正の事實として確信すと雖、更に各人各個に就て親しく之を説くことは、真に龍燈を實見せしめ